

令和八年六月

晉賢光明

華嚴宗 晉賢光明寺

今月の法話

一、「弁財天と私」 二、「リーダーのための十善」

一、弁財天と私

毎年六月十七日は、弁財天のご供養日です。今までも何度かお話はしてありますが、今日は自身の体験と記憶に基づきお話しします。

私は前世より弁財天との縁起があります。それは口伝としますが、今世で久しぶりにお会いしたのは私が二十九歳の頃です。鹿児島県の志布志町での土地の清めを依頼された時の事です。数万坪とかなり広い土地でしたので苦労しました。目の前は種子島が見える別荘地でプライベートビーチやヨットハーバーもありました。清めの翌日、釣具を借りて釣りへと出かけましたところ、浜辺に濡れた白い白衣を着た女性が見えました。地元の海女さんかと思っただけで挨拶しようと思っただけで、手前で急に金縛りとなり、激しい頭痛に襲われました。その時に相手が弁財天さまであることが分かりました。右手に五弦の琵琶を持ち、鋭い眼差し、水晶のようなオーラが見えます。そしてこう言われました。「私のこと覚えておったか。ここでの釣りは行わない。これより四つ足の物口にしてはならない。」それだけ言うとおうらが銀色の光の玉となり真上に上がりそのまま地平線向かい消えました。ふと見ると小さな岬に赤いお社がありました。後で地元の人に聞くと弁財天を祀ったものであると。

先ほど禁じられたばかりにも関わらず、岩に登って釣り糸を投げたところ、すべて強く身体を打ち付けてしまします。さっそくバチが当たりました。私はそれからはなるべく殺生はしないようにしますが、当時はまだ和食の仕事もしてたので、活魚も扱うのでその時はお祈りし、それ以降肉は口にせぬようにしております。

その後弁財天様との前世のことがはつきりと甦り記憶を取り戻しました。その後、信者さんの中に厳島弁財天をお祀りする方がおりました。ご縁を感じ厳島の大願寺という寺に参拝へと伺いました。それから毎年六月十七日に参拝しておりましたが、あるときには関西テレビに映されて、東大寺の管長様に、なんで厳島にいるの？など言われました。それから十年目のことです。お祭りの日の帰りに空が紫色となって虹色の龍神雲が追いかけてきて言われたのです。これからは十七日の午前十時にお前のところに行くので私を祀りなさい。それ以来、毎年お祀りさせていただいてます。

本堂の建つ鎌倉の土地も、小田原別院の土地も、弁財天様がお導きいただいたのです。鎌倉は正面に銭洗弁天、右には江の島弁財天、後ろは厳島弁財天が鎮座しております。本堂に不思議なことです。特に土地、不動産、弁舌、金運は、抜群のご利益を感じます。五月の大黒天に続いて、六月の弁財天を祀られれば運氣は非常に強まります。

日本最古の弁財天は大阪府の箕面山瀧安寺で祀られており、役行者が祀ったとの伝承があります。江戸時代には富くじを始めて有名になったようです。また、弁財天は音楽、芸能、美術の神とされ、弁舌に関しては、演説、営業を生業とする方は良いと思います。そして、良縁成就の神でもあります。一部では逆に男女の仲が悪くなるという言説も見られますが、決して信じないでください。

弁財天の祀り方は毎月十七日に、三合のお米と九個の卵そして酒を供えて祈ります。観音経又は般若心経、弁財天真言七遍又は二十一遍。そして、自身の祈りと希望を言うてくださいませ。これは大黒天と同じです。お米と供え物の卵は翌日以降に食べてください。以前に弁財天と宇賀神のつながりについて、水の神である弁財天が農耕、水、川の守り神である宇賀神と繋がったとお話しました。宇賀神の頭が老人であるのは先祖への感謝と功德を重ねる祈り、そして豊穡の力を表します。弁財天は宇賀神が繋がったことにより、一層に力が増大したのです。六月十七日には弁天様が当山に降臨していただけます。このようなことは滅多にありません。ぜひともご縁を繋いで御利益を受けてくださいませ。

二、リーダーのための十善

今まで奈良朝の仏教について様々な観点からお話してまいりました。現代を生きる私たちにとって、奈良時代はかけ離れた存在に思えるかもしれませんが。しかし、逆に奈良時代こそが現代の我々が参考にできる物事が多いのです。まず、現代社会は複雑で多様な問題に溢れています。それは価値観の多様化がもたらすものです。私たちは何に重きを置けばよいのかを常に問われています。それは古代の日本も同じで、それ以上かもしれません。今の日本は北朝鮮、ロシア、中国に囲まれ、同盟国であるアメリカとも常に気の休まら

ない交渉を強いられています。まだ「日本」という名前もない頃。倭国では王権も磐石とは言えず、東西の豪族に加え、朝鮮や中国とも有効な関係を築く必要がありました。

特に七世紀に起こった白村江の戦いはその最たるものです。百済と深い親交のあった朝廷は滅ばされた百済の再興のために派兵するものの、中国(唐)朝鮮(新羅)連合に敗北。これにより百済は完全に滅び、続いて高句麗も滅亡したことで新羅による朝鮮統一がなされ、極東アジアは中国と日本が対峙する関係になります。故に日本は急いで国体を整え、また防衛の強化に努める必要が生まれました。

そんな中で国家の背骨として期待されたのが仏教です。倭国は祭祀を中心とした信仰から、仏教という教えを取り入れ、政治の中心に置きました。それは仏教の中に「為政者のための教え」が含まれていたためです。以前もお話しましたが、金光明経には王としての振る舞いについて説かれた教えが存在します。王は仏法を守り、懺悔して滅罪を行うことで世の安穩を得るのです。修二会もそのための法会となります。『金光明経』では、王は正法によって国を治めるべきであり、その統治が正しく行われる時、四天王をはじめとする諸天善神が国を守護すると説かれます。

では、正しい統治のために為政者は何をするべきなのか。經典には十善戒を守ることが説かれています。十善戒とは不殺生、不偷盗、不邪淫、不妄語、不悪口、不両舌、不綺語、不貪慾、不瞋恚、不邪見である。また、王は前世においてこの十善を守ったからこそ王位にあるのだとして、天皇を十善の君と呼ぶこともあります。そして、正法を守るものは四天王により守護されると。つまり、王とは仏法を尊び、十善を人々に行わせるようにしなければなりません。そうすることで、人々の中に和が生まれ、結びつきは強固で安定したものになり、それが国を守ることにつながるのです。この十善の教えは為政者のみならず、現代を生きるリーダーにも当てはまります。

十善は「身口意」に分類されます。まず、「身」の不殺生、不偷盗、不邪淫。これはその人の行いです。不殺生とは単に殺したり、奪ったりということではなく、他者を尊重して自らの欲望のために他者を傷つけないという戒めです。現代の社会で言えば力ある者による搾取などもこれに当てはまるでしょう。

次に「口」は不妄語、不綺語、不悪口、不両舌。これらは嘘、無責任な言葉、人を傷つける言葉、人間関係を引き裂く言葉と言い換えることができます。言葉は現代のSNSによって極めて強い力を持ちます。言動一つで、怒りや憎しみが際限無く広がり、時には人の命をもおびやかします。

そして「意」は不慳貪、不瞋恚、不邪見です。むさぼる心、怒りの心、誤った認識。私たちはそれぞれがそれぞれの世界を見て聞いて感じています。それは時に自分にとって都合のよい世界を作り上げることさえあるのです。しかし、これは一人の内面世界にとどまらず、特に為政者であれば大きな歪を現実 に及ぼします。これは大国のリーダーを見れば明らかでしょう。

リーダーや為政者は、特に影響が大きいものですが、大切なのは私たち一人ひとりがこの仏の教えを実践に移すことで世界を良くすることができるといことです。金光明経では懺悔業障が極めて重要であると説きます。なぜなら、懺悔とは己の過ちを認め、繰り返し悔い誓うことなのです。特に為政者にこれが求められたことは言うまでもありません。そして、すべての人が仏教を己の心の拠り所として帰依し、懺悔することで世の中は良い方向へと進みます。

ただ、これを読まれた方は思うでしょう。かの為政者たちが仏に帰依し、自らを顧みて頭を垂れるだろうかと。私たちに彼ら彼女らを変えることはできません。故に仏菩薩の慈悲心にすがるよりほかありません。彼らの分まで私たちが懺悔するより他ないのです。私たちが少しでも善くなれば、世間もその分だけ良くなるのですから。

合掌

南無日光妙法蓮華經

*六月のラッキーカラー、暗剣殺、五黄殺(六月六日〜七月五日) 一年通してのラッキーカラーは黄色です。
*暗剣殺、五黄殺とは凶方位の事で移転増築や旅行など控えた方が良い方位となります。

六月のラッキーカラー	緑	ピンク	白	暗剣殺	北西	五黄殺	南東
------------	---	-----	---	-----	----	-----	----

【お知らせ】

- ① 七月の勉強会の日程 七月四日(土) 五日(日) 七日(火) 正午より 横浜教会 七月十一日(土) 午後二時より 横須賀支部 七月十二日(日) 午後二時より 小田原支部 七月二十六日(日) 午後二時より
- ② 弁財天祭・六月十七日(水) 午前十時より 財福、芸術、弁舌、除災などのご利益をもつ辨財天様の護摩法を行います。
- ③ 盂蘭盆会施餓鬼護摩供養 七月十九日(日) 午後十二時半より(鎌倉山行きのバスは大船十一時二〇分発になります)
- ④ 年に一度の大回向です。ご先祖様、そして友人、恩師など一人でも多くの方々の成仏を祈りましょう。詳細は別紙にて。
- ⑤ 仏像彫刻教室 六月二十一日(日) 七月十二日(日) 正午より 絵画教室 七月五日(日) 勉強会後 本堂にて
- ⑥ ※見学・体験もできますのでご興味のある方はぜひお越しくださいませ。
- ⑦ 滝行の予定・六月二十一日・七月十二日 塩川滝 午前七時 六月二十八日・七月二十六日 夕日の滝 午前六時